

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【公表番号】特表2014-503792(P2014-503792A)

【公表日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-008

【出願番号】特願2013-536693(P2013-536693)

【国際特許分類】

G 0 1 N 15/14 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 15/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月26日(2014.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

流動セル100へと引き込まれる試料流体とシース流体との相対的な割合は、試料ラインの流体抵抗R0と、可変抵抗流体抵抗器222の流体抵抗との割合に依存する。従って、可変抵抗流体抵抗器222の流動抵抗を調整することにより、シース流体に対する試料流体の割合を制御することができる。動圧低下を一定に維持することにより流動セルを通る全体の流量が一定に保持される場合、可変抵抗流体抵抗器222の有効な流体抵抗のそれぞれ低減は、試料流体の割合の減少およびシース流体の割合の増加を結果として生ずる。従って、可変抵抗流体抵抗器222の全体の流体抵抗を適切に調節することにより、一定の流量を流動セルに通しつつ望ましい試料の割合を選択することができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 2】

【表1】

流体抵抗320の有効抵抗

弁356	弁355	全体の抵抗
閉	閉	$R1$
開	閉	$1/(1/R1+1/R2)$
閉	開	$1/(1/R1+1/R3)$
開	開	$1/(1/R1+1/R2+1/R3)$